



Weekly Report



クラブ・テーマ 「時流にあわせた変化と発展」

会 長 小田光司 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹 事 田中芳明 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
会長E 小林利郎 <http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp> E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度 第39回 通算2610例会

平成29年5月25日

会長の時間

副会長 原田晃博

本日は会長の代わりにお話しさせて頂きました。プログラムはライラ研修の報告会となっております。今年度の RYLA 研修は、先の戦時中特攻隊の最前線基地がありました鹿児島県の知覧において行われました。



海外の方は自分の国や世界の歴史を本当によく知っていますが、日本人はなかなかそうではないようです。やはり平和や歴史について日本人ももっとしっかり学ぶべき必要があるのではないかと思います。

★小田会長より★

今回研修に参加して下さったのは、根岸会員の事業所のまきば園の若者達です。ご参加くださいまして本当にありがとうございました。

ライラは、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。一日のセミナーから数日間の合宿まで、さまざまなライイベントが世界各地で行われています。

ではリーダーシップとは何かというと、「指導者としての地位・任務。指導権。」「指導者としての素質・能力。統率力。」ということです。なかなか難しい課題だと思います。リーダーシップの取り方は人それぞれで、自分に見合ったやり方を見つけなければならないからです。カリスマ性のある人と、地道に人間関係を構築して地位を築いた人とは若干違う印象を受けるのではないのでしょうか。どちらにしても一長一短であると思いますが、自分のおかれた状況をよく鑑みて、その時の判断をくだす観察眼を養っていただけたらと思います。それでは本日もよりしくお願いいたします。

幹事報告

幹事 田中芳明

- 1、桃園経国 RC 16 周年記念誌が届いています。
- 2、地区より次年度会長、幹事に青少年交換プログラムのお願いが届いています。
- 3、地区より「RI 第 3000 地区 (インド) からグローバル補助金を使用した国際奉仕事業の提案」が届いています。

岩槻東 RC 様より次年度幹事が山崎 和夫会員に決まりましたとのお知らせが届いています。

- 5、「元荒川をきれいにする会」より協賛のお願いが届いています。



委員会報告

奉仕委員会 委員長 増岡昌行

5月19日～21日、桃園経国ロータリークラブの創立16周年記念式典出席のため、原田副会長、中村 S A A、鈴木支援・広報・学友部門委員長、増岡奉仕委員長、田畑会員の5名で台湾を訪問して参りました。



RYLA 研修報告

平成29年4月15日から17日の3日間、鹿児島県知覧市での RYLA 研修に参加させていただきました。今年度のテーマは「ロータリーを通じて平和について考えよう!!」ということで、主に「平和」と「リーダーシップ」について考えてまいりました。1日目は仙巖園や桜島へ、2日目は知覧特攻平和会館、富谷旅館、そしてホテルでの研修を行い、3日目は霧島神宮と高千穂牧場を見学して羽田空港へと戻りました。

初日の15日は鹿児島に到着した後、まずは仙巖園へ行きました。仙巖園は1658年に第19代島津家

当主島津光久が築いた島津家別邸とその庭園跡で、隣接した尚古集成館や薩摩切子工場では、第28代当主島津斉彬のヨーロッパ式製鉄所やガラス工場、造船事業の様子を見ることが出来ます。庭園は桜島を借景とした見事な造りで、早くも鹿児島の雄大な自然を満喫していました。その後は桜島フェリーに乗船し、桜島の有村溶岩展望所へ向かいました。進むにつれてごつごつとした溶岩を間近に感じる事ができ、それまで仙巖園で目にしていた上品な景色が一変していききました。埼玉県で暮らしていると絶対に日常的に見ることのできない景色でしたので、内心は子供の様にとてもワクワクしていたのを覚えています。



展望所へ向かうバスの中では、ガイドの方が「観光客はいつも噴火を楽しみにされますが、今日は噴火していませんね。」というようなことを明るく仰っていました。初めは「観光に来てそんなことを言うのは不謹慎ではないか」と違和感を覚えましたが、実際に現地に行ったことで、鹿児島の方々はいろいろな知恵と工夫で生活を明るく豊かにしてきたことを知りました。例えば、桜島周辺の地域では「克灰袋」というアイテムがあります。桜島から降りそそいだ灰をこの袋に入れ、所定の場所に置いておくと、市から回収に来てもらえるとのことでした。元々は「降灰袋」という名前でしたが、「灰に打ち克つ」という意味で「克灰袋」に名前が変わったそうです。また、回収した灰はガラス細工の原料にしたり、石鹼にしたりと、火山灰を有効活用されていることがよくわかりました。

2日目は知覧市にある特攻平和会館と、太平洋戦争時に帝国陸軍指定食堂だった富谷旅館に参りました。平和会館には太平洋戦争で活躍した戦闘機や陸軍沖縄戦で戦死した全特攻隊員1036名の遺影、遺書、手紙などの遺品が展示されています。展示品には当時実際に使われていた軍服や靴、銃などもあり、「こうしたものを手にして戦ったんだ」と戦争を身近に、具体的に想像することができました。たくさん展示されていた遺書の中で特に印象に残ったのは、29歳の特攻隊員が4歳と2歳の子供たちに遺したものです。就学前で文字が読めない子供たちのために、当時小学校で一番初めに学ぶカタカナで書かれたもので、お母さんに心配をかけないように、大きくなったら自分の好きな道に進むように、自分は神様になって見守っている、というような内容でした。自分たちが戦い、特攻に行くことで大事な人たちを守ろうという隊員の方の強い気持ちを感じました。富谷旅館では、語り部の方に特攻隊員と「特攻の母」と呼ばれた女将さん（鳥濱トメさん）との交流や当時の様子を教えていただきました。お話からは、特攻隊員たちのことを忘れないでほしい、隊員たちのことを感じてほしいという想いが伝わってきました。



平和会館では目から情報を得ていましたが、お話を「聴く」という耳からの情報が、とても印象に残りました。その後はホテルに戻り、研修生同士で知覧特攻平和会館と富谷旅館を見学して感じたことや、平和に向けて自分たちができることについて意見交換をしました。戦争の空しさ、平和の大切さや命の尊さなど、見学を通して改めて強く意識し、この経験や学びを家族や友人に伝えていくことが平和への第一歩だと思います。普段生活しているなかでは知ることのできない日本での戦争について、実感を持って学び、経験し、平和について深く考える時間となりました。

最終日の3日目は、まず鹿児島県霧島市にある霧島神宮に参拝しました。霧島神宮は日本建国の祖神ニギノミコトを主祭神として祀られていて、古くは延喜式からその名を登場させています。あいにくの雨天でしたが、外国人の方を含め、たくさんの参拝者がいらっしゃいました。神代から続く由緒とそれを誇りとする静謐さを感じ、高千穂峰の雄大な自然も相まって、とても空気の美しい場所でした。参拝を終えた後

はすぐ近くの高千穂牧場へ行き、牧場のレストラン内で修了式を行いました。高千穂牧場は鹿児島県と宮崎県の県境に位置しており、所在地としては宮崎県都市になります。たくさんの人に酪農を知ってほしいと



いう思いから駐車場などの料金が無料になっており、近隣住民の利用も多い牧場とのことでした。今回参加させていただいたRYLA研修は、3日間を通して鹿児島のさまざまな名所を訪れ、たくさんのことを学び、考えました。日本にも戦争という過去があったことを知り、戦禍の中で生きた人々の願いや祈りに耳を傾け、命は尊いものであるということをしつかりと心の中に持つことが大切なのだろうと思います。また、普段の生活から遠く離れた土地に行き、新しく人と知り合うことで、知らない文化を知り、知らない生活様式を学ぶことができ非常に楽しい研修となりました。グループ討議などを通して多様な価値観を知り、自身の感じていることを他者に発言し意見を共有することで、自分に自信を持つことも出来ました。研修を通して得た発言力や積極性を活かし、今後より一層、職場でのリーダーシップ向上や自身の成長につなげていきたいと思っています。貴重な研修に参加させていただき、ありがとうございました。

社会福祉法人隼人会

まきば園 根岸 真以子 さん
岩槻まきば園 戸井田 恭兵 さん
鴻巣まきば園 吉田 祐輔 さん
武里まきば園 尾曲 悠里枝 さん



スマイルBOXより

メンバー (50 音順)

菊地 廣 塩田淳司 鈴木 隆 関根信行
田中芳明 田畑寛樹 出山知宏 根岸節子
原田晃博 増岡昌行 三浦宣之

✿ たくさんのご芳志ありがとうございました ✿

スマイル報告

本日のスマイル合計	17,000 円
年間累計額	771,386 円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	12		5	65.38%